

鴨川ふるさと会だより

— 第24号 —

鴨川ふるさと会発行
事務局：〒296-8601

千葉県鴨川市横渚1450番地（鴨川市役所経営企画部まちづくり推進課内）

TEL：04-7093-7828

令和2年度 鴨川ふるさと会 定期総会の開催 結果等について

令和2年度鴨川ふるさと会定期総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により通常の形式での開催が困難となったため、書面により開催いたしました。

今までにない開催形式となりましたが、すべての議案において規約の承認条件を満たすご承認をいただき、可決されました。ご理解、ご協力ありがとうございました。

なお、例年開催している「ふるさとセミナー」につきましても、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み今年度は開催中止としております。



オルカ鴨川FC 2020年シーズンの報告

▼なでしこリーグ2部を3位で閉幕 過去最高順位

結成7年目を迎えたオルカ鴨川FC。2020シーズンは、熊田喜則新監督を迎え、なでしこリーグ2部優勝、1部昇格を目指して戦ってきました。

今シーズンは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、シーズンの開幕が7月と大きくずれこみました。

リーグ開幕後は、第1節・第2節とリモートマッチ（無観客試合）となり、第3節から入場制限をしながらの開催となりました。開幕当初は、勝利を収めることができず、



順位	チーム名	勝点	試合数	勝	分	負	得点	失点	得失点
1	スフィーダ世田谷FC	37	18	11	4	3	34	18	+16
2	ちふれASエルフェン埼玉	36	18	11	3	4	33	13	+20
3	オルカ鴨川FC	34	18	10	4	4	37	18	+19
4	ニッパツ横浜FCシーガルズ	32	18	8	8	2	29	8	+21
5	AC長野パルセイロ・レディース	28	18	8	4	6	22	13	+9
6	ASハリマアルビオン	26	18	8	2	8	25	22	+3
7	大和シルフィード	26	18	7	5	6	15	16	-1
8	FC+文字 VENTUS	13	18	3	4	11	15	40	-25
9	日体大 FIELDS 横浜	9	18	2	3	13	7	46	-39
10	パノーズ京都SC	8	18	1	5	12	8	31	-23

我慢の試合が続きました。第5節でようやく今シーズン初勝利をし、リーグ前半戦を4位で折り返しました。リーグ後半戦は、2部得点女王の中嶋選手を中心に得点を挙げ、残り3試合を残してリーグ首位に浮上しました。第17節のスフィーダ世田谷FCとの首位攻防戦に敗れ、かすかな望みを残し最終戦に臨みましたが、上位2チームが勝利したため最終的にリーグ3位で閉幕しました。

▼新監督を迎え新たな舞台へ
2021シーズンでは、新たに開幕されるプロリーグ「WEリーグ」に多くのなでしこリーグ1部のチームが参入するため、オルカ鴨川FCは、なでしこリーグ1部でシーズンを迎えることとなります。

2021シーズンより小川貴史新監督が就任しました。小川監督は埼玉県出身で、数々のチームでコーチ、監督を歴任してきました。

小川監督を中心にチームがひとつになり、新しい舞台で選手達が躍動し、オルカ旋風を巻き起こします。オルカ鴨川FCは、なでしこリーグ1部優勝をめざして戦ってまいりますので、引き続き暖かいご声援をお願いします。





「故郷を離れて、今思うこと」

鴨川ふるさと会
会員 高橋千恵子

私は鴨川で生まれ育ち、現在は東京に住んでいます。

一年近く続くコロナ禍で自由に帰省できず、友達に会いに行くこともできずにいる中で、最近思うこと、そしてやはり故郷を離れている友人と話すことは「故郷のためにできること」です。

そのきっかけは、十五年前の長狭高校の同窓会（東京の集い）への参加でした。

東京にきて二十二年目で初めて手にした往復はがきには、「全員に通知ができないのでみんなを誘って参加してください」とありました。

私は長狭高在学中に剣道部に属していました。

剣道部の同級生は連絡を取り合い毎年集まっていたので、在京の剣道部の同級生を二人誘い参加しました。

会場では両親と同じくらいの年代の先輩方から、一学年違いの先輩までたくさんの方が笑顔で話しかけて下さいます。

「ああ、あのうちの娘さんか、

俺も剣道部だったんだよ」

「ほら、橋渡ったとこのうちにばーさんいたらう。あれが俺のかあちゃんだよ」

知っているお店の話をした、私の通学路近くに実家がある先輩がいたりします。頭の中に色々な風景がよみがえります。

不思議な気持ちがありました。ただ、「長狭高校の卒業生」という共通点だけで、故郷を離れた東京の地に集い、ここに来なければ絶対に接点なかったであろう人たちと、同じ空間で同じ時間を過ごしています。

「ここにも鴨川、あるんだな」と、何となく思っているところに、当時の東京支部の幹事長がいらして「学年幹事を引き受けてくれないか。はがきを出す手伝いをしてくれたらいいから」とおっしゃいます。

「僕も剣道部で、君の道場の先生が監督の時に在籍してたんだよ」と、笑顔で。

「先輩に頼まれたら断れないよ」という気持ちと「また長狭と関わりを持てるかな」という気持ちでお引き受けしました。

その時は、まさかその翌年に東京支部の幹事会に入るとは、全く思いませんでした…。

年に数回の幹事会でしたが、

幹事のみなさんは東京の地で同窓生の交流を深め、また参加者を増やしていくためにどうするかを真剣に考えて話し合っていました。年ごとの参加人数や参加の年齢層、男女別の分析もしています。

どうしてそこまで頑張れるのかな、と思いました。

ある程度の時間、故郷を離れて過ごす、帰りたいとか昔はどうだったとかではない、積極的な感情がわくんだなと気づいたのは数年後でした。

それからは、参加者を増やすために同級生に声をかけた剣道部の後輩たちに声をかけたたりと働きかけるようになりました。

先輩の幹事さんたちはもっと早くから頑張っていたのに、気付くのが遅すぎたな、と反省しましたが、まだ皆さんにお詫びはしていません…。

東京支部は、幹事全員が仕事をもちっていますので、同窓会の準備はその合間をぬっての作業となります。

案内のものがきを作って投函し、返信されたはがきの集計、名札と名簿や当日の案内の作成、会場の手配、会場のスタッフさんとの打ち合わせ、当日の鴨川からの荷物の受取や会場の準備、後片付け、受付等、

作業はたくさんあります。

それでも、皆さんが帰るときに「今年もありがとう」と言ってくださることが、幹事全員の力になっています。

昨年は残念ながら東京の集いは見送りとなりました。

見送りについても色々な意見があり、真剣な話し合いとなりました。

メールの確認を忘れると、携帯に「メール見て！」と連絡がきました（笑）

話し合いの結果、昨年は見送りとなりましたが、今年は十月二日土曜日の開催を目指し、昨年のうちに会場を予約しました。

在京で直接地元のためにできることは少ないかもしれませんが、一昨年の台風の時も、友達の安否を確認し、声をかけたりするくらいしかできませんでした。

それでもこちらで地元を懐かしむ会を開催していることは、ささやかながら「故郷への恩返し」になっていると思っています。

これから誰のために、地元のために何ができるのかはわかりませんが、知らない誰かの笑顔のためにできることはあると思っています、今年も東京の集いの開催に向け、準備しようと思います。

掲載記事を募集します！

会員の皆様からの「鴨川ふるさと会だより」への掲載記事を募集しています。日頃感じていることや、ふるさと鴨川への想い、身の回りの出来事などを会員ページに掲載してみませんか。

今号では、会員の高橋千恵子さんに「故郷を離れて、今思うこと」を、屋間洋子さんに「万祝をめぐのお話」をテーマとして、ご寄稿をいただきました。ありがとうございました。今後も、この「鴨川ふるさと会だより」を、会員同士の交流を深める場、報告の場などとして、どうぞお気軽にご利用ください。

新規会員を募集しています！

会員を募集しています。今回、会報発送に併せて、会員募集チラシを同封させていただきました。

会員の皆様のお知り合いの方で、鴨川出身の方や鴨川にゆかりがあり応援したいという方へお配りいただくなど、会員の募集にぜひご協力ください。



18

「万祝をめぐるお話」

鴨川ふるさと会
副会長 昼間 洋子

昨年9月からNHKBSブ
レミアムで「漕つくし」の再放
送が始まった。昭和60年に放
送された銚子を舞台にした朝
の連続テレビ小説である。私
は当時全く見ていなかったの
で、今回はハマっている。

初回、外川の海辺で主人公
の二人が出会うシーンで、漁
師役の川野太郎が万祝を着て
現れる。それが本当にかっこ
いいのだ。ヒロイン役の沢口
靖子が一目惚れするのも無理
はない。

紀州から来たオカモ
ン(陸者)の明石家さん
まが、初めて万祝を着
て、半纏のように前を
合わせて紐を結んで着
たら、漁師の仲間に「万
祝は肩で着るもんだ」
といわれるシーンがあ
る。羽織って風を切る
のがかっこいいのだ。
昨年7月、鹿児島県
の知覧を再訪した。前
回は両親を連れて鹿児
島に行き、志布志に住
む親類の夫婦と知覧の



▶万祝染写真

特攻ミュージアムを見学した。
今回は続日本百名城に選ばれ
た知覧城を訪ねる目的で、
「ミュージアム知覧」を見学
した。そこに飾られていたの
は万祝2枚で、何と「鴨川漁業
部」と書かれている。その日は
休日で学芸員も不在だったの
で、改めてなぜそこに万祝が
あるのかを問い合わせた。親
切に紀要を送ってくれた。寄
贈された一族の方が房州で何
かの形で手に入れ、大事に持
ち帰り、保存されたらしい。
私は大学の卒論で万祝を選
んだ。黒潮に乗って北上した
文化が、今度は鹿児島まで南
下して万祝をつないでくれた
のだ。

新市立国保病院

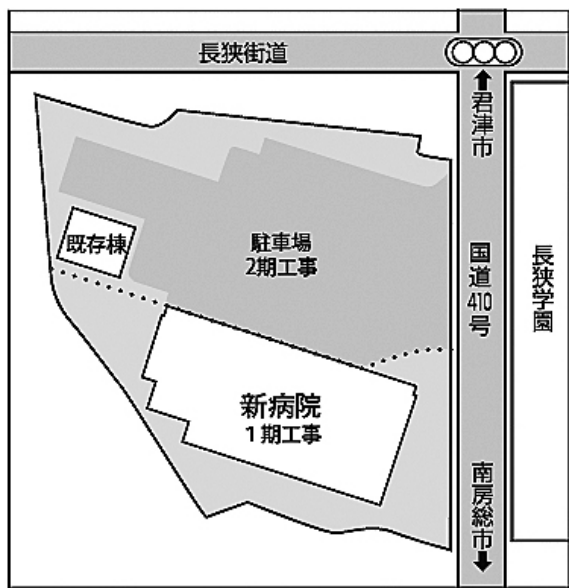
4月26日開院予定、外来は5月1日開始

昭和48年に開院後、今年で
築48年となる市立国保病院の
建替え工事が、2月末をもつ
て完了しました。

新たな国保病院は、①災害
時に市民を支える、②これか
らの公的医療を推進する、③
まちの活性化を支える、この
3つのコンセプトのもと、地
域住民の暮らしを支える中核
医療機関として、令和3年4
月26日に開院予定です。

▼新国保病院の概要

- ▽名称 鴨川市立国保病院
- ▽病床数 70床
- ▽階数 地上3階建て
- ▽各フロアの概要
 - ・1階 外来診療室、歯科診
療室、検査室、手術
室・処置室、リハビ
リ訓練室、地域包括
ケアセンター ほか
 - ・2階 入院病棟35床
 - ・3階 入院病棟35床



▲新国保病院への移行が完了後、旧病院を解体し駐車場を拡張します。



▶外観

◀院内



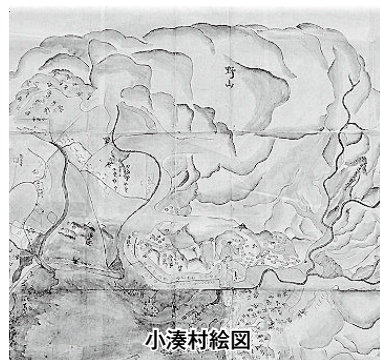
日蓮聖人ご降誕800年プロジェクト 日蓮聖人生誕地跡地調査について



本調査は、令和3年2月16日に日蓮聖人ご降誕800年を迎えるにあたり、海中に沈んでいるとされている日蓮聖人生誕の地を明らかにし、これまで語り継がれてきた伝説の解明と、文化財としての位置付けなども検討しながら、新たな観光資源の開発と、地域の活性化を目的とし、総務省地域力創造アドバイザーの高野誠鮮氏、日蓮宗調査の第一人者である立正大学仏教学部の寺尾英智氏、海洋考古学に精通した東京海洋大学の岩淵聡文氏、近藤逸人氏との連携により、令和元年度から実施したものです。

令和元年5月に、東京海洋大学岩淵教授、近藤教授及び学生2名が鴨川入りし、地元の有識者や周辺の海をよく知る海士、市内日蓮宗の住職などから聞き取り調査を行うとともに、内浦湾の入り口にある太平洋側の小弁天島と大弁天島周辺の海岸線の目視調査とドローン空撮による現地調査を行いました。

この周辺では、古くから、「海中で真水が出ているところがある」「海中で井戸を見たら」などの言い伝えがありますが、当該調査では発見に至りませんでした。そこで、古い文献からも聖人の生誕地であったとされる「片海（かたうみ）」という地名を手がかりに調査場所を変更することとし、令和2年9月及び11月に内浦湾の「鴨川ホテル三日月」西側周辺の海底（水深10m程度）を広範囲にわたって無人調査機を用いて海底調査



岩淵教授によると、「海岸部にあった中世の漁村が沈降したとすれば、以前は陸上にあった磯が砂泥に覆われており、その上に掘って立て柱により作られた家屋が分布し、それが沈降と同時に、砂泥とともに流失したと考えるのがもっとも妥当であり、今は海底にある磯（岩礁）の上にかつての漁村の痕跡が残っている可能性は低いと考えられる。しかしながら、その流失物がちようど海底の磯と砂泥の境界線付近の海底下に埋没している可能性はある。内浦湾の内奥部の砂泥から成る海底には、いくつかのポイントにおいて海底からの突起物が観察されており、これらはすべて、独立した岩礁である可能性が高いが、何らかの人工物の痕跡あるいは沈降後、海上からの投機物であるという可能性を排除することはできない。」とのことでした。

今回の調査結果から音響画像データにより判断するのは限界があり、最終的には水中考古学のダイバーによる潜水目視調査を実施する必要があるとのことでしたが、追加調査については、今後の状況をみて判断していきたいと考えております。

また、本調査の研究成果については、本年11月に台湾で開催予定の第4回アジア太平洋地域水文化会議でも発表される予定となっております。

本調査は、日蓮聖人ご降誕800年プロジェクトと題し、日蓮聖人の生誕地を探すという大きなテーマのもと実施されました。今回、生誕地の発

を行いしました。

本調査には、東安房漁協天津小湊支部、妙の浦遊覧船協業組合などにも協力をいただきながら、東京海洋大学が開発した自律型海上無人ロボット（ASV）の下部に固定したサイドスキャンソナーにより内浦湾海底の音響画像データを取得しました。

音響画像データの解析により、内浦湾の内奥部の海底には、東から磯（岩礁）が広がっており、その次に砂泥の海底、そのさらに西側からふたたび磯（岩礁）地帯が広がっていることがわかりました。

見や生誕地の痕跡などに直接的につながるものの発見等には至りませんでした。御降誕800年という大きな節目であること、県内でも例を見ない調査であったこと、調査事業費については、本市でも初となるクラウドファンディングを活用したことなど、メディア等にも多数掲載していただき、本市のPRに大きな役割を果たしました。

新型コロナウイルス感染症の影響は、当初、数十万人の入込を想定していた日蓮聖人生誕800年祭についても、規模を大幅に縮小するなど、観光面で大きなダメージとなっておりませんが、今回、得られた調査データを、新たな観光資源に結びつけ、「日蓮聖人生誕の地 鴨川」を広くPRしていきたいと考えています。

